

第15回 阪神高速事業アドバイザー一会議 議事概要

1. 日時：2023年12月5日（火） 16:00～17:30

2. 場所：本社8階第1・第2会議室

3. 出席者：浦西委員、河合委員、正司座長、松坂委員、矢野委員

(50音順)

4. 議事要旨：

○「議事(1)第13・14回議事概要」について説明。

○「議事(2)2022年度決算報告」「議事(3)2023年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。

*コロナ禍を経験し、“働き方”だけでなく”生き方”に焦点を当てることも必要と感じている。女性採用や男性育休取得促進の取り組みに期待している。

*働き方改革を引き続き実施し、若手が意欲的に働けるような、働き甲斐のある環境作りを進めてほしい。

*以前と比較し、安全・安心・快適な道路になったと感じるが、まだ交通事故件数は多いように見受けられる。引き続き事故削減に努めていただきたい。

*時代と共に車両の性能が上がるのと同時に、事故対策も高度化する必要がある。車両軌跡データのデジタル化を活用した分析によって交通事故減少に活かさないか。

*世の中の情報を多面的に考慮し、阪神高速のビジネスリスクを広く把握しておくべき。自社で実施しているものでなく、特に外注による調達には留意すべきである。

*経営の自由化を図り、超長期的な視点で、より自主性を持った料金の在り方を検討してはどうか。

*その他、労働時間の管理、社会情勢も踏まえた適正な賃上げ、現在の利益水準、関連事業利益等に関して質疑応答があった。

—以 上—